

みやぎ技能 KENTEI NEWS

—第7号—
令和5年3月

宮城県は、技能向上に挑戦する会社と若者を応援します。

クレア工業株式会社 太田 純之さん（32歳）

1級左官技能士（左官作業）令和4年度合格



受検するきっかけ

以前は別の仕事に携わっていましたが、左官に興味があり、縁あってクレア工業へ入社しました。現在9年目になります。

入社してから「技能士」という資格があることを知って、資格を取得したいと思い、それを一つの目標としてきました。入社4年目の時に会社から技能検定を受検してはどうかと声をかけていただき、その時に技能検定2級を受検し、合格しました。1級も取得したいと思っていたところ、再び会社から挑戦してみないかと勧められたのをきっかけに、1級にチャレンジしました。

合格に向けて取り組んだこと

弊社では、受検前に社内に練習の場を設けるので、そこに参加しました。通常の業務終了後に受検する

人たちが集まって、参考となるDVDを見て勉強したり、先輩に教えていただいたりしながら、一日2時間程度かけて練習を行いました。一日の仕事を終えてからの練習なので大変でしたが、合格したい気持ちが強かったので、練習に励みました。

技能検定の課題は、普段現場で行う作業とは少し異なっており、使用する道具も材料も違うので、初めは大変でした。また、課題を仕上げるためには5時間程度必要となりますが、夜の練習時間では一気に仕上げまで行うことができないため、今日は下地までなどと、作業を区切って行いました。材料の石膏プラスターは時間の経過とともに固まってしまうため、その日のうちに使い切らなければならず、苦勞しました。また時間内に正確に仕上げなければならず、苦戦しました。

学科試験についてはひたすら過去問と向き合い、朝や仕事の合間に勉強しました。また、宮城県左官工業組合連合会で実施している勉強会にも参加して、ポイントとなる点について学びました。



技能検定受験を通して得たこと

技能検定受験のために勉強したことが、現場で生かされているなど感じます。時間内に正確に仕上げることが意識するようになりました。

技能士の資格を取得して良かったと思っています。自信につながっているし、1級技能士の資格に恥じない仕事をしようと心掛けるようになり、仕事に対する姿勢が変わったと思います。

今後の目標

練習している時に先輩方からのアドバイスはとてもありがたかったので、自分も、後輩に教えていきたいと考えています。現場でも周りから認められ、頼りにされるような職人となるために、これからも技能を高める努力を続けて頑張っていきたいと思っています。

事業者の声

技能検定への取り組みについて伺いました。



代表取締役社長 佐藤宏樹さん

技能検定への取り組み状況

弊社では、以前から技能検定に積極的に取り組んでいます。

左官は宮城では慣例で3年間は修業期間として「養成工」と呼んでおり、4年目から「職人」という位置づけとなっています。そういったことから、弊社では入社4年目で職人となった社員に技能検定を受けてみてはどうかと声かけをしており、多くの社員が技能検定2級を受検しています。



DVDを活用した訓練の様子

受検日が近くなると社内に実技の練習場を設けて集中して実技の練習を行っています。(一社)日本左官業組合連合会で手順等を説明したDVDを作成しているので、それを参考に勉強したり、実技課題に1日2時間程度、のべ1週間ほどかけて取り組み、先輩達の指導を受けながら受検に向けて練習しています。課題準備は一か月ほど前から行いますが、受検者自ら架台の石膏ボードを自分で寸法を測って切るところから行っています。試験に関係ない部分ですが、現場ではそういった機会はないので、建築に携わる者の勉強になっていると思います。

検定で使用する道具は普段の業務で使用するものとは大きさが異なるため、弊社負担で道具を準備しているほか、練習の材料費や受検手数料を負担して社員をバックアップしています。

資格取得にチャレンジするその姿勢を評価しており、資格を取得した場合には、資格手当を支給しています。

資格取得の意義

技能検定という、一つのことにチャレンジして、それを達成したという経験と達成感が、本人のモチベーションにつながると考えています。受検前の練習で同世代が集まって、ともに技能の向上を目指すことで、自分の技能の成長度合いを確認できる場になっており、本人の成長への次のステップに繋がっ

ています。

また、先輩方が仕事終わりにも関わらず指導をしてくれることで、先輩方に対する意識も変わり、社内の良いコミュニケーションの場となっています。



今後の取り組み

弊社では毎年度、社員を新規に採用することとされています。採用を継続し、社員を育てていくことが企業にとっては大切なことです。

現在、弊社には各世代の社員が働いていて、20代も20数%在籍しているため、若い方も入ってきやすいと思います。

そして入社4年目ほどで技能検定2級を受検するという文化が根付いています。技能検定試験に合格し、資格を取得することは新規採用となる方々のキャリアアッププランの各ステップの目標の一つにもなっていることから、技能検定試験受検のサポートは今後も継続していこうと考えています。



業務内容

- ・左官工事、タイル工事一式
- ・塗装工事、防水工事一式
- ・耐震補強工事、樹脂注入工事一式
- ・外壁改修工事、外壁劣化補修工事一式
- ・湿式外断熱工事
- ・一般住宅 新築・リノベーション工事

会社紹介

社名：クリア工業株式会社

代表：取締役会長 千葉正勝

代表取締役 佐藤宏樹

創業：昭和41年

所在地：仙台市若林区かすみ町 24-15

TEL：022-286-7287

Web：https://clear-indst.jp/

技能検定ってなに？

働く上で身に付ける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度です。建築大工やファイナンシャル・プランニングなど全部で131職種の試験があります。

受検できる人は？

原則として、受検する職種に関して等級ごとに決められた年数以上の検定職種に関する仕事の経験が必要になります。

3級の場合、検定職種に関する仕事の経験がある方、職業訓練を修了した方もしくは受けている方、また、学校教育を卒業した方もしくは受けている方に受検資格があります。工業高校・農業高校・技術専門学校・各種専門学校などの在校生で、技能検定職種に関する学科に在籍中の方も、3級技能検定を受検できます。また、工業高等学校等に在学しており、かつ、工業高等学校の教員等による検定職種に関する講習を受講し、当該講習の責任者から技能検定試験受検に際して安全衛生上の問題等がないと判定された方も受検できます。

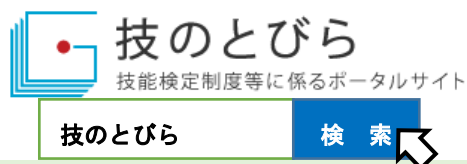
3級技能検定に合格された方は、在学中であっても2級の受検資格を得ることができます。

「技のとびら」(技能検定制度等に係るポータルサイト)のご紹介

技能検定制度、技能検定実施職種、試験日程・内容、技能士の活用事例、技能競技大会などの様々な情報が掲載されています。

また、動画を観ながら自分で学べる人材育成マニュアルや、技能を伝える(魅力PR系)の動画も用意されています。

ぜひ一度、のぞいてみてください。



宮城県伊具高等学校 総合学科機械系列 渡邊工ミリーさん(17歳)

3級機械検査技能士(機械検査作業) 令和4年度合格



受検するきっかけ

ものづくりに携わる仕事に就きたいと考え、伊具高校に入学しました。機械系列では、旋盤作業などの機械加工の実習の際に測定作業を行っています。その際に、信頼性の高い寸法測定作業の大切さと、その測定の技術・技能が日本のものづくりを支えていることを学び、私もこの技術・技能を身につけたいと考え受検しました。

合格に向けて取り組んだこと

実技試験にむけて、ブロックゲージの測定を行い一定の測定圧で測定できるようにしました。次に、材料にノギス、マイクロメーターを正しくあてる練習を行いました。その後、まずは正確に読めるように繰り返し測定をし、最後に速く読めるように練習をしました。

技能検定受検をとおして得たこと

間違ったらどうして間違えたかを考え、改善しながら、何度も練習をすることで、技術が身につけていくのだと感じました。練習を繰り返して行くと、速く正確に測定できるようになり、技能検定にも合格したことで自信にも繋がりました。また、他の職種 of 技能検定にも挑戦したいという気持ちにもなりました。

今後の目標

入学当初からの製造業に就きたいという思いが、伊具高校で勉強するなかで更になくなりました。今後は、希望の進路を達成できるように勉強に資格に部活動に積極的に取り組み、充実した高校生活にしたいです。



学校の声：機械系列長 河邑佳彦さん

本校は大正9年に伊具郡立伊具農蚕学校として開校しました。その後、幾多の紆余曲折を経て昭和38年に宮城県伊具高等学校と校名を変更しました。学科は農業科、商業科、生活科の3学科となり、平成11年より総合学科に学科改編し、現在は、農学(農業)・機械(工業)・情報(商業)・福祉(家庭)の4系列を設置しています。機械系列では、地域連携活動に取り組んでおり、子ども向け消毒液スタンドやゴミ集積所を地域に寄贈してきました。また、地域の小中学生に向けてプログラミングや手仕上げなどの出前授業を行ってきました。また、Society5.0の社会に向けて、産業用ロボットや制御、プログラミングの分野にも力を入れています。このような学習を通して生徒は将来の目標を明確にしていきます。そして目標を達成するために学習や技能検定といった資格に取り組み、確かな技術・技能、そして自信を身につけ、それぞれが進路目標を達成していきます。最後に本系列では、技能士にむけた挑戦は生徒自身の成長に繋がる大事な側面であると考え積極的に取り組んでいます。

学校名：宮城県伊具高等学校
創立：大正9年4月
学科：総合学科(農学・機械・情報・福祉)
所在地：伊具郡丸森町字雁歌51
HP：<https://igu.myswan.ne.jp/>